

研究課題名	2018-041 がん化学療法患者の血糖コントロールの実態調査
実施責任者	名古屋掖済会病院 薬剤部 副薬剤部長 中村敏史
研究の概要	<p>抗がん剤による治療では吐き気の予防などのために副腎皮質ステロイド剤がしばしば用いられます。このステロイド剤の副作用で、糖尿病を発症したり血糖のコントロールが悪化することがあります。しかし、どの程度血糖コントロールが積極的に行われているのかは明らかではありません。</p> <p>今回の研究では、抗がん剤治療を受けていらっしゃる患者様の、血糖コントロールの状況を、当院の電子カルテシステムより情報を収集して検討します。</p> <p>この内容には氏名・住所といった個人を特定できるような情報は含みません。</p>
実施の期間	2017年 8月 1日 より 2018年 7月31日 まで
研究対象	上記の期間に、当院にて抗がん剤による治療が行われたすべての患者様を対象にします。